

◎ 展開する事業群(2-1-3)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野	③	不登校等への対応の推進

☆
18

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
子どもへの相談支援(カウンセラー等専門家の支援) (☆)	○児童館における相談事業 (指導員と子どものふれあいの中での間接的な相談、手助け) (再掲1-(2)-①、2-(1)-②、2-(3)-②)	こども福祉	H22～26	保護者からの相談件数 181件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。 日常の会話の中での相談についての件数は含んでいない。
	○家庭児童相談室での相談事業 (再掲1-(2)-①、2-(1)-②、2-(3)-②)	こども福祉		延べ1,619人・1,256世帯
	○小・中学校での教育相談 (再掲1-(2)-①、2-(1)-②、2-(3)-②)	学校教育		○教育相談 ・相談実施回数99回(各校11回×9校)、相談件数総数428件 ・草内小学校にキラサポーターを配置し、不登校傾向にある児童の学習支援や教育相談を行い、不登校の未然防止と早期解決を図った。
	○小・中学校でのカウンセラー等専門家による教育相談(☆) 臨床心理士等専門家による学校復帰や進学等に対する支援と保護者への相談体制の充実強化 (再掲2-(3)-②)	学校教育		小・中学校で教育相談を実施し、精神衛生面での支援や不登校生徒・保護者への支援、学校に対するコンサルテーション機能を果たしている。 ・小学校(市事業) 実施回数99回、相談件数428件 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ67件、相談人数 延べ491人
	○適応指導教室(ポットラック)の充実 (再掲2-(1)-⑥、2-(3)-②)	学校教育		○適応指導教室充実事業 精神的に不安定な通室生徒への適切な対応を図るため、精神病理の専門家をスーパーバイザーとして招き、カンファレンスを実施した。 年間開室日数 201日 通室延人数 493人